

日時・場所	平成30年10月29日（月） 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、西村教育長、瀬川議会事務局長、竹中政策調整部長、小山総務部長、田中市民部長、高橋健康福祉部長、赤坂健康福祉部政策監、三上都市建設部長、遠藤環境経済部長、吉川教育部長、川端会計管理者、吉田政策調整部次長、北脇広報秘書課長、事務局（企画調整課）

1. 市長指示事項

- ・ 中学生のいわゆる「家出」が連続してあり、職員、警察、地域、消防等に夜にも出て頂き、かなりの人的労力を費やして対応頂いた。労力やエネルギーのいることであり、頻発するとかなりの仕事となり、業務に差し支えが出る。しかしまずは命が大事であり、現場はきちんと対応していかなくてはならず、仕組みとしてどうしていくのか。昔もなかったとは言えないが、今の社会状況、経済状況の反映であり、家庭の状況もあって、その結果が子どもの反応として出ている。福祉、教育委員会だけの問題ではなく、まちづくり全体の視点で考えてほしい。
- ・ 先週行政懇談会があり、野洲学区では昨年度も今年も民生委員の選び方に悩んでいるとの話が出て議論された。元々戦後すぐの制度であり、今では制度自体に無理がある。解決策はないが、毎年同じでは市民、自治会、市にストレスが溜まる。市に権限のない国の制度ではあるが、市としてどう考えるのかを考えてほしい。
- ・ 障がい者雇用において、国が一番ひどかったが、次は受入体制ができていない中、急に何千人も雇用しようとしている。一時にまとまって採用されればその後の人たちに不公平にもなる。野洲市ではこのようなことはしない。社会政策はきめ細かく丁寧に、受け入れから中長期まで見越してする必要があり、他山の石として対応してほしい。
- ・ プラスチックごみはできるだけ使わないようになってきているが、元々野洲の市民が消費活動に熱心であり、レジ袋の有料化等に貢献してこられた。レジ袋の有料義務化等、国はもう一段絞り込もうとしており、商売に当たっては有料化の方向で進んでいる。一方、イベントや自治会活動、市の行事ではまだまだポリ袋が使われている。自治会の活動は制約はできないが、意識喚起をしてもらい、各分野で気をつけて、ポリ袋やプラスチックを抑制するようにしてほしい。

2. 報告事項

① 平成31年度「おうみ自治体クラウド協議会共同調達システム（基幹システム）」稼働時期について

[所管：総務部]

おうみ自治体クラウド協議会で共同調達した基幹システムは、平成31年10月に湖南市、栗東市、野洲市の3市が同時に稼働することとなっている。しかし、3市同時の稼働は運用支援や不具合に対応する事業者側の人的資源が不足する恐れがあるため、3市の稼働時期について、湖南市を平成31年8月、栗東市を同年10月、本市を同年11月に分散することとした。

契約移行前後でシステムが変わらない業務については、平成31年11月18日（月）を稼働開始日とし、新規開始業務やシステム変更がある業務については契約移行に伴い平成31年10月1日（火）から新システムの稼働とする。

→LGBTについて、市民部には合理性のない性別の記載を無くす方向で内部検討をしてもらっている。住民票記載事項証明のような国の制度であっても、相手方に提出する際には本人希望によって性別を出さないようにできればいい。システムはクラウドで一括であるので、できればクラウド協議会で統合できればと思っているが、無理なら野洲市単独でも行うよう考えている。草津市長には声をかけさせてもらった。他の課でも合理性のない性別の記載は省くよう検討してほしい。

3. 協議事項

なし

4. その他伝達事項

- ・ 10月25日（木）から家出で行方不明になっていた中学生が、26日（金）午後7時55分に市職員により発見されたので報告する。入院するような状態ではなく、警察官2人に付き添われて自宅へ戻られた。（健康福祉部）
- ・ 全国地域安全運動の一環で、守山署で全国地域安全ポスターコンクールが行われた。北野小学校3年生の方が守山警察署協議会長賞を受賞された。（市民部）
- ・ 平成30年度市政功労者表彰式を11月3日（土）午前10時から野洲市総合防災センターで開催する。（政策調整部）

5. 次回部長会議の予定

11月5日（月） 8時45分～ 庁議室